



# 全国保健師長会千葉県支部だより

令和2年度 第2号 令和3年3月15日発行

## 千葉県支部長あいさつ

令和2年度はコロナで明けコロナで終える1年となりました。保健師活動も制限された部分も多いかと思いますが、この危機を学びに変えてさらなるステップアップを図る機会としていきたいと思っております。1年間保健師長会への御協力・御支援ありがとうございました。支部だよりをお届けします。

池田 紀子（千葉県松戸保健所）

### 1 第42回全国保健師長会代議員総会 令和2年11月21日（土）書面審議

今年度は、令和2年11月21日（土）に大分県で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、全国保健師長会規約第18条6項の規定により書面審議となりました。

議案はすべて承認されたことをこの場をお借りして報告させていただきます。

（詳細は、令和2年11月発行の全国保健師長会ニュースを御覧ください。）

### 2 令和2年度南関東・東京ブロック研修会 令和2年12月 資料配布による研修 テーマ：「災害に強いまちづくり」

～保健師活動における災害時の自治体の応援派遣・受援について～

資料提供者：千葉大学大学院看護学研究科 宮崎美砂子先生

1月下旬に皆様のお手元にも資料が届いたと思います。災害時の保健活動に加え、コロナ禍での応援派遣・受援の留意点も盛り込まれた資料になっていますのでぜひ御活用ください。

また、令和2年12月には「災害時の保健活動推進マニュアル」も配信されていますのでぜひお役立てください。（詳しくは、全国保健師長会ホームページをご覧ください。）

### 3 卒業される先輩方から ～リーダー保健師へのメッセージ～

ありがとう  
ございます

#### <千葉県 健康福祉部 健康づくり支援課 副技監 市川滋子さま>

今年度は特に新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、連日「保健師」というワードが取り上げられ、健康危機管理に対応する保健師への期待が高まっています。

その反面、対人支援や地域支援活動を縮小せざる得なくなり、県においても保健師を対象とした研修の中止や対面開催ができなくなるなど、OJTや現任教育に大きな影響をうけました。

しかしながらこのような状況においても、地域の健康課題解決のため、住民への保健サービスの提供や総合調整、地域保健関連施策の企画・立案・実施及び評価を行い、地域特性を生かした健康なまちづくりを推進することも、保健師は担っております。

部署や立場により今担っている役割は違うと思いますが、この時代を経験しているリーダー保健師の皆さまに期待することは、感染症と共存後の保健師活動のビジョンを持ち、次の世代を育てることです。これからの変化を予測し、対応策を描き、自組織内で取り組むためのビジョンを共有するステップを、もう一度始めてほしいのです。「未来は必ず来る。ただし理想の未来は思い描かないと来ない。」これはテレビCMで流れている言葉ですが、この言葉を皆様へのエールとして贈ります。

千葉県健康福祉部健康づくり支援課 副技監 市川滋子



#### <印旛健康福祉センター（印旛保健所） 副センター長 古川恭子さま>

保健師は地域住民の生命と生活を衛り、みんなが健康で幸福になれるお手伝いをする人だと思っています。人々が健康的な生活をしようと思っても、仕事が忙しく残業続きだったり、ワンオペ育児や介護で思うように睡眠がとれず疲労が蓄積したり、コロナウイルス感染の不安や外出を控え運動不足になったり、と自分一人だけではどうしようもないことがあります。人々の生活は経済や社会の動きと切っても切れない関係です。それは健康にも影響を及ぼしていくので経済、働き方、少子高齢社会等、今後の社会情勢の変化を予測し保健活動を展開していかなければなりません。リーダー保健師として自治体に保健師が配置されている意味を考え、生活に関係ある他部署や関係者、地域住民と共に健康と幸福を

目指し、同じ方向を向いて保健活動ができる環境づくりをしていくと楽しく仕事ができるのではないのでしょうか。それには地域での健康課題の共有や健康なまちづくりをどうしていくか、地域住民や関係者みんなに伝え、意見交換し、やるべきことを「見える化」していくことが大切です。成果はすぐ出ないことが多いので地域の健康向上のため、仲間の保健師たちと力を合わせ、やろうと思ったことを地道にあきらめず、自分の健康に留意しつつこれからも継続し頑張ってください。

印旛健康福祉センター 副センター長 古川恭子



### <松戸市 保坂はるか さま>

全国保健師長会千葉県支部の役員の方、所属における重責がある中、私たち会員に対し研修などを通しバックアップをしていただきありがとうございました。

保健師長会の研修を通し受けた刺激があったからこそ、今日まで頑張ってきたように思います。心から感謝申し上げます

定年の年に、このようなコロナ禍時代になっているとは、想像もしておりませんでした。コロナ禍が住民の健康や医療に及ぼした影響は大きく、経済的な問題、DV、自殺者増加などさまざまな問題で保健師に対する期待が高まっていると思います。今後、さらに複雑・多岐にわたる支援が必要とされると思いますが、どうぞ地域で頑張っているリーダー保健師である皆様が今まで同様に社会の期待に応える保健師像を見せながら、後輩保健師を支えていただければと願っております。会員の皆さまのご健康とご活躍、そして千葉県支部のますますのご発展を心より祈念しております。

松戸市 保坂はるか



## 4 新型コロナ保健活動報告

今年度は、新型コロナウイルス感染症により各事業が中止、書面開催等になっているため研修報告等を皆さんにお知らせすることが困難な状況です。そこで皆さんの活動の参考になればと、君津保健所の新型コロナウイルス保健活動について紹介いたします。



### 「県型保健所における新型コロナウイルス保健活動におけるリーダーの役割」

君津保健所【篠崎久美、小島玲子、高橋綾】

君津保健所は、アクアライン経由で都内等が身近であるため、新型コロナウイルスへの不安は東京湾から入ってきたといっても過言ではありません。漠然とした不安や症状に対する相談体制、陽性者への調査、在宅療養者の健康チェックや精神支援などの体制整備を、所として構築することが必要でした。疾病対策課が中心となって実施していた業務をまず所内の保健師に拡大し、対応全般を随時全職員体制になるよう各課各職種に周知したり、市などの外部機関へ働きかけたり、保健所閉庁時は管理職が相談を担ったり、業務が偏ることがないように体制を拡大していきました。

所内体制づくりに必要なことは、説明（教育）です。相談や対応をするとき、保健師だからこそその観点をことばにし、住民に対応できる人材を育てるため、対応等の注意点を説明していきました。

現在（令和3年2月末）は第3波が落ち着き始めていますが、患者数はまだ県下で100人を超えています。体制を変えることなく、第4波に備えて今後必要な対応を職員が身に着けることができるよう、役割を担っていきたいと考えています。

## 5 令和3年度全国保健師長会千葉県支部総会について

令和3年度の全国保健師長会千葉県支部総会については、開催方法を理事にて検討しております。決まりましたら、改めてお知らせしますのでしばらくお待ちください。

皆様におかれましては、次年度も引き続き保健師長会への御加入をお願いするとともに、新たなお仲間のお誘いもお願いいたします。

## 6 災害時にも使用できる「ふろしき」の配布について



全国保健師長会からの補助金を活用し、災害時にも使用できる「ふろしき」を配布させていただきました。御活用ください。

### ✿✿ 編集後記

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策においてリーダー保健師として御尽力された皆様に感謝申し上げます。活動される中での悩み・迷い等たくさんあったかと思います。そんな思いを保健師長会で共有していけたら、また、少しでも活動のお役に立てたらと感じています。これからも御支援・御協力をお願いします。

担当✿✿